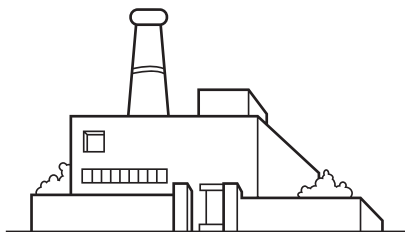


# クリーンセンター建設に向けて



クリーンセンター建設には、みなさんのご理解とご協力が必要です。

今月号では、10月2日におこなわれた第5回清掃センター建設審議会の内容とクリーンセンターについてのQ&Aを紹介します。

## 第5回清掃センター建設審議会【10月2日(金)】では、次のことを協議しました。

### ●前回審議会のまとめについて

- ・クリーンセンターを環境都市木津川市のシンボルとして活用する。
  - ・クリーンセンターに環境学習の場や環境に関する情報発信の機能を備える。
  - ・気軽にクリーンセンターに訪れやすい雰囲気づくりを進める。
  - ・将来、リサイクルセンターなども立地することを想定し、候補地を選定する。
- など、前回までの提案や意見を確認しました。

### ●位置選定の手順と評価方法について

### ●クリーンセンター施設・立地のコンセプトに基づく位置選定の評価項目等について

- ・位置選定の手順と方法を確認しました。
- ・評価については、クリーンセンター施設・立地のコンセプトに基づき、評価項目等を定め、総合的かつ客観的に望ましい候補地を選定することを確認しました。

## ■ クリーンセンターQ&A ■

### Q. マテリアルリサイクル・サーマルリサイクルとは？

- A. マテリアルリサイクルとは、ごみを原料として再利用することです。「材料リサイクル」「材料再生」「再資源化」「再生利用」などといわれることもあり、具体的には、使用済み製品や生産工程から出るごみなどを回収し、利用しやすいように処理して、新しい製品の材料もしくは原料として使うことです。
- 一方、サーマルリサイクルとは、マテリアルリサイクルに適さない廃棄物を焼却処分した場合、その焼却の際に発生するエネルギーを回収・利用することです。代表的な例としては、ごみ焼却による発電や温水などの熱源利用、冷房用のエネルギーとして利用することがあります。

### Q. 温暖化防止のために、私たちができることは？

- A. 現在、家庭でもオフィスでも包装やコピー用紙などの廃棄物が増えており、また電動化によりエネルギー消費が増大しています。このような便利な生活を営む一方で、二酸化炭素排出量は年々増大しています。温暖化の要因となっている二酸化炭素の排出削減には、特効薬はなく、一人ひとりの小さな取組を組み合わせる必要があります。

燃やすごみを減らすこと以外にも、次のような取組が考えられます。ぜひみなさんもお協力ください。

- ・冷房の設定温度を1度高く、暖房の設定温度を1度低く設定する → 年間約33kgのCO<sub>2</sub>削減
- ・使わない電気製品のコンセントをこまめに抜き、待機電力を削減 → 年間約60kgのCO<sub>2</sub>削減
- ・急発進をしない、駐車中のアイドリングストップ(1日5分間のアイドリングストップ) → 年間約39kgのCO<sub>2</sub>削減
- ・買い物に行くときは、マイバッグを持参し、レジ袋をもらわない。 → 年間約58kgのCO<sub>2</sub>削減

問合せ まち美化推進課 清掃センター推進室  
☎75-1215 Fax72-3900  
E-mail: clean-center@city.kizugawa.lg.jp